

インドネシア共和国バンダ・アチェ市による姉妹都市提携の希望

2017年6月

在メダン日本国総領事館

今般、インドネシア共和国バンダ・アチェ市より、日本の都市との姉妹都市提携を希望する旨の要望がありました。以下バンダ・アチェ市の概要を紹介します。

1 バンダ・アチェ市の概要

(1) 基礎データ

所在地 北緯5度21分59秒 東経95度19分04秒

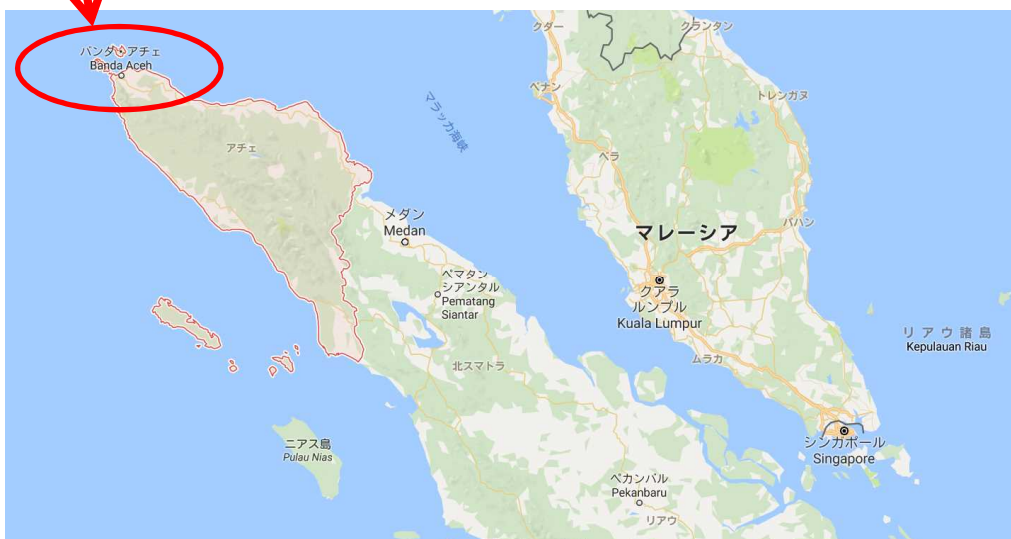
面積:61.36km²

人口:250,000人(2011年)

日本との時差:-2時間

公式観光ウェブサイト:

<http://www.acehtourism.info/en/>



(2) バンダ・アチェ市は、インドネシア共和国最西端に位置するアチェ州の州都で、市民の多くはアチェ人と呼ばれるアチェ族です。インドネシアにイスラム教が伝わった際に、最初にイスラムに触れた地ということもあり、イスラム教色が強い土地です。歴史的には外国商人が訪れていたことから、アラブ系、インド系、マレー系等による混血が進んでいます。第二次大戦後のインドネシア独立戦争時に旧日本軍兵士がインドネシア独立のために同地でインドネシア人と共に戦ったこともあり、親日感情が極めて強い地域です。

【バンダ・アチェ市内の観光ポイント:大モスク】



2 バンダ・アチェ市の歴史

(1) 1205年、スルタン・ジョハン・シャーは、現在のバンダ・アチェ市周辺地域にバンダル・アチェ・ダルサラームという名の都市を建設しました(アチェ王国の都)。

(2) 1874年、蘭領東インド軍は30年来戦争していたアチェ王国に勝利し、本市エリアは蘭領東インドに支配される。市名がクタラジャ(Kutaraja)に変更されました。

(3) 1963年、市名が現在のバンダ・アチェ市に変更される。2004年12月26日に発生したスマトラ沖津波・地震はバンダ・アチェ市を直撃し、多くの人命が失われた他、建物の損壊も発生しました。国内外からの援助を受け、復興に取り組んでいます。

【写真:バンダ・アチェ市内の津波博物館】



3 バンダ・アチェ市の特徴

(1)2004年のスマトラ沖津波・地震で大きな被害を受けた地域です。日本からは5億ドルの資金援助他,多くの復興事業が実施されてきました。2011年の東日本大震災の際は,バンダ・アチェ市の学生達による,東日本大震災被災者への応援歌が送られました。

4 バンダ・アチェ市の産業

- ・農林水産業
- ・サービス産業

【写真:バンダ・アチェ市の名物菓子のクエ・ボイ(左,魚の形をしたベビークステラ風)とクエ・ティンバン(右,バナナを包んだ菓子餅)】



5 姉妹都市に関するバンダ・アチェ市の意向

共通点を有する都市との姉妹都市関係を結びたい意向があります。そして、姉妹都市関係が成立した後、具体的な協力関係を構築していきたいとのことです。

[お問い合わせ先]

◆外務省大臣官房総務課地方連携推進室

電話: 03-5501-8491

メール: gaimu-renkei@mofa.go.jp

なお、バンダ・アチェ市以外の都市でも日本の自治体と姉妹都市提携を希望している都市があります。以下の姉妹都市募集情報もご覧ください。

外務省ホームページ内「グローバル外交ネット」

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/local/action/sf_city.html__